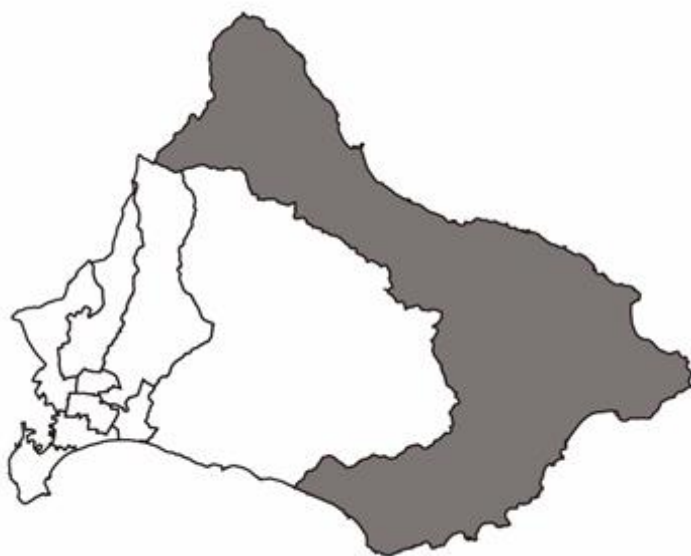


函館市地域包括支援センター社協  
(地域包括支援センター運営業務)

## 令和6年度（2024年度）活動評価

## 令和7年度（2025年度）活動計画

東部圏域



# — 目 次 —

1. 圏域の現状と課題	・ ・ ・	1
2. 重点活動	・ ・ ・	5
3. 令和6年度活動評価および令和6年度活動計画		
ア 地域包括支援センターの運営	・ ・ ・	6
(ア) 総合相談支援業務	・ ・ ・	6
(イ) 権利擁護業務	・ ・ ・	10
(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	・ ・ ・	14
(エ) 地域ケア会議推進事業	・ ・ ・	18
イ 生活支援体制整備事業	・ ・ ・	22
(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務	・ ・ ・	22
ウ 認知症総合支援事業	・ ・ ・	26
(ア) 認知症初期集中支援推進事業	・ ・ ・	26
(イ) 認知症地域支援・ケア向上事業	・ ・ ・	26

# 圏 域 の 現 状 と 課 題

## 1. 人口の推移と年齢構成

(人)

	R2.3	R3.3	R4.3	R5.3	R6.3	R6.9	割合	全市
年少人口	724	670	614	570	525	503	5.4%	8.6%
生産年齢人口	5,135	4,862	4,599	4,380	4,149	4,084	43.6%	54.1%
高齢人口	5,166	5,073	5,003	4,891	4,814	4,776	51.0%	37.2%
65～74歳	2,380	2,372	2,327	2,221	2,124	2,073	22.1%	16.1%
75歳以上	2,786	2,701	2,676	2,670	2,690	2,703	28.9%	21.2%

## 2. 世帯構成 (R6.9)

(世帯)

	世帯数	割合	全市
高齢者単身世帯	1,770	33.5%	26.9%
高齢者複数世帯	990	18.8%	13.0%
その他	2,519	47.7%	60.1%

## 3. 事業対象者・要支援認定者の状況

(人)

	R5.9	R6.9	全市
認定者数	321	348	7,582
認定率	6.5%	7.3%	8.6%
給付実績	134	128	4,409
給付率	2.7%	2.7%	5.0%

## 4. 介護保険サービス事業所数 (R6.9)

(件)

	事業所数
居宅介護支援等 (※1)	7
地域密着型サービス (※2)	5

※1 居宅介護支援・小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護事業所

※2 地域密着型サービス事業所 (小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護を除く)

## 5. 地域の現状・特徴

○人口減少により地域の担い手が不足している。

○交通の便が悪く、必要な医療を身近に受けることができない地域格差がある。

○外出・活動の場への参加について、移動手段が限られていることや移動距離が長いいため、参加しにくい状況である。

### 1) 医療機関数 (件)

	戸井	恵山	楳法華	南茅部	計
医科	1	1	1	2	5
歯科	1	1	0	2	4
薬局	1	1	1	2	5

(診療科)

①杉山クリニック

内科・消化器科

②市立函館恵山病院

内科・整形外科

泌尿器科(第1水曜日/第3金曜日)市立函館病院

耳鼻咽喉科(毎月第3火曜日)市立函館病院

眼科(最終週の月曜日)函館中央病院

③楳法華クリニック

外科・消化器科・皮膚科

④市立函館南茅部病院

内科

外科(第4金曜日)市立函館病院

耳鼻科(第3火曜日午前)市立函館病院

眼科(第1木曜日)函館中央病院

(送迎対応)

①杉山クリニック(送迎なし)

②市立函館恵山病院(巡回バス)

③楳法華クリニック(送迎あり)

④市立函館南茅部病院(巡回バス)

⑤坂口内科クリニック(送迎あり)

⑤坂口内科クリニック

内科

### 2) 介護保険事業所 (件)

在宅系	戸井	恵山	楳法華	南茅部	計
居宅介護	0	1	1	1	3
訪問介護	0	0	0	1	1
通所介護	0	1	1	1	3
短期入所	1	1	0	1	3
訪問入浴	0	0	0	0	0
小多機	2	0	0	1	3
看護小多機	0	1	0	0	1

(件)

入所系	戸井	恵山	楳法華	南茅部	計
サ高住	2	1	0	0	3
GH	1	1	0	1	3
特養	1	1	0	1	3
介護付有料	0	0	1	0	1

※小規模多機能型居宅介護事業所は、通所や泊まりのサービス提供は行っているが、職員不足により訪問サービスが実施できていない状況にあり、事業所の機能が果たせていない。

本来、サービスを利用することで在宅生活の限界点が高まることが期待されるが、低い状況となっている。

※訪問入浴サービスについては、令和6年3月末で廃止。

※戸井地区通所介護事業所は、令和6年3月末で廃止。

※令和5年度まで居宅介護支援事業所「みなみかやべ」および「とどほっけ」では各2名体制であったが、令和6年4月より各1名体制となる。

※圏域の居宅介護支援事業所に対応ができず、旧市内の事業所に対応することが多くなっている。

### 3) 公共交通機関の状況

#### ①路線バス（令和7年4月1日現在。一部路線を抜粋）

日ノ浜団地発 函館バスセンター行	
1	06:26
2	08:21
3	10:20
4	13:06
5	14:32
6	16:36

南茅部支所発 函館バスセンター行	
1	06:56
2	08:33
3	13:55
4	16:09

楳法華支所発 南茅部支所行	
1	11:03

楳法華支所発 函館バスセンター行	
1	06:18
2	13:17
3	15:31

※日ノ浜団地発楳法華支所行は、令和6年度廃止。

#### ②タクシー

函館市内には、タクシーの営業区域が2つ存在し、出発地および到着地の両方ともを同一営業区域内とする旅客の運送はできない。

<函館交通圏> 函館市（旧南茅部町区域を除く）、北斗市、七飯町

<森 圏> 函館市（旧南茅部町区域）、鹿部町、森町

このような状況の中、地元の南茅部ハイヤー（有）が令和元年10月に廃業したため、地元の足を確保する観点から、令和2年12月から第一交通産業グループが営業区域拡大の特例により、南茅部地域をカバーしている。

<運行事業者>（株）ことぶき第一交通、美咲第一交通（株）

#### ③その他

この圏域は人口が少なく、路線バス利用者も少ないという実情から、将来的に路線バスを維持することは難しく、市で新たな交通の導入を含め、地域の足の確保を目指すこととしている。

### 4) 食料品等を扱う店舗（本格的に営業している商店のみ）

(件)

	戸井	恵山	楳法華	南茅部	計
路面店	3	1	2	3	9
移動販売	2	3	2	1	8
コンビニエンスストア	1	2	0	3	6
中型店舗	0	1	0	2	3

<路面店> 戸井：①宇美商店 ②滝山田商店 ③加藤商店 恵山：尻岸内ストア

楳法華：①小林商店 ②福永商店 南茅部：①上山商店 ②古川商店 ③菊地商店

<移動販売> ①函館牛乳 ②八百屋 ③ダイシメ ④モロイ等

※コープさっぽろ「おまかせ便カケル」を除く

<コンビニエンスストア> ①セイコーマート ②セブンイレブン ③ローソン

<中型店舗> ①サツドラ ②イエローグローブ ③ニコット

※大型店舗がなく、衣類・雑貨等の購入が難しい。

※コープさっぽろの宅配サービス「トドック」を利用している方もいるが、購入手続き自体を行えない方も多い。

※移動販売は取り扱う食材が限られることから、惣菜を購入して食べる方もいる。

## 6. 日常生活圏域レベルの地域課題の整理に基づく地域課題

優先順位	地域の問題	問題が生じている要因	地域課題
1	災害に対して不安があるが、地域での取り組みができていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害への備えや避難について不安に思っているが、どうしたらよいかわからない方が多い。</li> <li>・町会ごとに災害に関する意識に違いがあり、避難訓練をしているが十分な対応であるか不安に思っている方が多い。</li> <li>・自身の避難場所がどこであるか把握していない方が多い。</li> </ul>	災害に備えるため、準備や対応の重要性を理解することができる。
2	地域活動の担い手不足でくらしの困りごとに対応できなくなっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化により町内会への関心や参加がない。</li> <li>・地域として問題解決しようとする意識が低い。</li> <li>・若い世代の互助力に対する関心の低下。</li> <li>・活動できる高齢者（ボランティア等）が少なくなってきた。</li> <li>・町会単位での活動が少ない、協力者がいない。</li> <li>・若い世代の取り組みが困難、アプローチが難しい。</li> </ul>	地域住民が地域での活動や支え合いの必要性を知ることができる。
3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの昇降やバス停まで移動ができず、公共交通機関を利用できない方がいる。（下肢筋力の低下）</li> <li>・高齢者単身世帯や高齢者のみ世帯が多く、外出の機会が減っており、活動量が減少してきている。</li> <li>・通いの場が徒歩で行ける場所になく、利用できない方もいる。</li> </ul>	地域住民が介護予防を理解し取り組むことができる。
4	買い物や病院受診など必要なところへの移動ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動支援サービスがない。</li> <li>・地域住民同士で、協力して買い物や病院受診をしているが、高齢化、人口減少で対応できなくなってきた。</li> <li>・地域住民が生活に必要な手段を知らない、活用できていない。</li> <li>・買い物、病院受診が困難になった時に使えるインフォーマルサービスを活用できてない。</li> <li>・地域の高齢者も生活に必要な資源を十分把握していない。</li> </ul>	地域住民が移動手段等の社会資源を知り利用することができる。

## 7. そのほか地域の現状やニーズに基づく地域課題

- ・圏域内にあるクリニックの医師の高齢化により、地域医療の低下が懸念される。
- ・空き家が多くなってきており、倒壊の恐れがある。捨て猫などが多くっており、不衛生で近隣トラブルが懸念される。
- ・若い世代が住める環境となっていない。

## 重 点 活 動

番号	地域課題	各業務での取組
1	災害に備えるため、準備や対応の重要性を理解することができる。	①地域ケア会議開催（災害時の対応についての意識共有） ②町会と連携し災害時の避難訓練の実施 ③災害に備えての広報啓発や勉強会
2	地域住民が地域での活動や支え合いの必要性を知ることができる。	①地域ケア会議開催 （地域での活動を紹介し興味関心を持っていただく） ②活動している町会等の活動内容を広報啓発
3	地域住民が介護予防を理解し取り組むことができる。	①介護予防に取り組むことで自立した生活につながることを広報啓発 ②活動グループの掘り起こし、情報整理 ③活動している町会等の活動内容を広報啓発
4	地域住民が移動手段等の社会資源を知り利用することができる。	①社会資源の整理、追加修正、チラシの作成 （旧市内の医療機関、地域の商店情報） ②社会資源の情報発信、広報啓発 ③地域へ課題を投げかけ、新たな取り組みへ発展、資源開発 （地域ケア会議開催）

## 令和6年度活動評価および令和7年度活動計画

### ア 地域包括支援センターの運営

#### (ア) 総合相談支援業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第1号

【目 的】地域の高齢者等が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者等の心身の状況や生活実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関または制度の利用につなげる等の支援を行う。

事業内容

総合相談  
支援業務

令和6年度 活動評価

実績（実施回数、内容、実施方法等）

活動目標に対する評価

○利用者基本情報作成状況

(件・人・%)

	R4年度	R5年度	R6年度	
目標数値	458	423	401	
作成数	予防給付	50	39	29
	(再)新規	1	1	0
	見守り	26	61	72
	(再)新規	18	35	39
	その他	419	339	338
	(再)新規	99	98	130
合計(A)	495	439	439	
(再)新規	118	134	169	
高齢者人口(B)	4,891	4,858	4,776	
実態把握率 (A/B)	10.1%	9.0%	9.2%	

○総合相談対応件数

(件)

	R4年度	R5年度	R6年度	
実件数	740	667	697	
延件数	847	791	886	
戸井地区	296	277	248	
	35%	35%	36%	
	恵山地区	224	225	206
	27%	28%	30%	
楳法華地区	74	57	39	
9%	8%	6%		
南茅部地区	248	226	203	
29%	29%	29%		

○相談形態内訳（延）

(件)

	R4年度	R5年度	R6年度
電話相談	240	261	254
来所相談	65	63	22
訪問相談	538	460	493
その他	4	7	7

○新規広報啓発先

戸井幼稚園、セイコーマート小安店、尾札部店、ローソン恵山海浜公園店、南茅部店、セブンイレブン恵山店、南茅部店、イエローグローブ南茅部店、ニコット恵山店、サツドラ川汲店、函館運転免許試験場

○広報啓発活動

(回)

	R4年度	R5年度	R6年度
広報紙の発行	2	2	2
パンフレット等の配布	25	37	31
出前講座・講師派遣	19	22	19

【活動目標】

・地域住民が異変に気づき相談機関に繋げることができる。

【評 価】

・計画していた広報紙の全戸配布、地域包括支援センター（以下「センター」という。）定例ミーティングを実施し、ランチとの連携継続が実施できた。職員のスキルアップについては、定例ミーティングを通して情報の共有や連携方法について検討、実行できた。

・総合相談件数については、微増となっており、広報紙の新たな配布先の開拓や広報啓発活動の効果も見込まれ、目標が達成できたと評価する。地域住民が異変に気づき相談機関に繋がることが重要であることから、引き続き次年度も同じ目標で取り組むこととしたい。また、新たな取り組みとしては、函館市町会連合会の勉強会に参加した際、気軽にセンターの取り組み内容を確認できるDVD等があれば、各行事で周知活動ができるのではないかと意見が上がっていたため、町会等で活用できるDVDの作成を検討することとしたい。

【活動目標】

・高齢者が健康管理や適切な受診行動をすることができる。

【評 価】

・出前講座やパンフレットの配布等で広報啓発活動を実施した。出前講座では、介護予防や健康診断の必要性、病院受診の必要性について必要な方へ指導しており、目標は達成できたと評価する。しかしながら、高齢者が自ら健康管理を行うとともに、適切な受診行動をとることができるよう継続した取組が必要であるため、次年度も同じ目標で取り組むこととしたい。



令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・ 地域住民が介護が要する状況に気づき、相談機関に繋げることを継続できる。</p>	<p>(相談体制の維持・強化)</p> <p>○センターが実施する出前講座のほか、社会福祉協議会（以下「社協」という。）各支所が実施する事業および老人クラブ等の場を活用し、新規相談に結び付ける。</p> <p>○センターが気軽に相談できる窓口であることを周知。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報紙の全戸配布、年1回。</li> </ul> <p>※戸井地区：約1,030世帯、恵山地区：約1,500世帯 楸法華地区：約400世帯、南茅部地区：約2,300世帯</p> <p>○関係機関への広報紙の配布。</p> <p>(職員のスキルアップ・ランチとの連携)</p> <p>○センター定例ミーティングの開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ センター職員とランチ職員との連携強化を目的として実施。</li> <li>・ 情報共有を定期的に実施することで職員の知識や判断について意識統一を図る。</li> </ul> <p>○センターの活動内容周知DVD作成の検討</p> <p>○福祉なんでも相談会の開催</p> <p>各月で戸井地区、恵山地区、楸法華地区、南茅部地区にて自立相談支援機関職員が中心に実施し、センター内共有を図り、新規相談に結びつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本情報の作成数</li> <li>・ 相談対応件数</li> <li>・ 相談者の続柄</li> <li>・ 相談形態内訳</li> <li>・ 広報紙の発行</li> <li>・ 新規広報紙配布機関</li> <li>・ 地区別相談件数</li> </ul>
<p>・ 高齢者が健康管理や適切な受診行動をとることができる。</p>	<p>○自主活動グループや老人クラブ団体への広報、啓発を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護予防の必要性について広報、啓発</li> <li>・ 健康診断の受診や病院受診の必要性について広報、啓発</li> <li>・ 東部外出支援サービスについての広報、啓発</li> <li>・ 戸井地区外出支援サービスについての広報、啓発</li> </ul> <p>○社会資源の整理、周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旧市内の医療機関情報の整理</li> <li>・ 地域の商店情報の整理</li> </ul> <p>○広報啓発等により適切な受診につながっているかアンケート調査実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出前講座回数</li> <li>・ 広報啓発回数</li> <li>・ 自主活動支援回数</li> <li>・ アンケート内容</li> </ul>

## (ア) 総合相談支援業務

事業内容	令和6年度 活動評価																																																							
	実績（実施回数、内容、実施方法等）			活動目標に対する評価																																																				
総合相談 支援業務	○栄養教室実績 （場所）戸井西部総合センター 1回目：令和6年5月28日（火） 参加者：12名 2回目：令和6年9月12日（木） 参加者13名 3回目：令和6年12月13日（金） 参加者16名			【活動目標】 ・前期高齢者が自分の食生活の問題に気づくことができる。  【評価】 ・料理教室の開催を通して食生活への見直しや改善に向けて、管理栄養士が講話を実施し、減塩の方法やカルシウムの摂取の方法について参加者の理解が深まった。ただし、一部の参加者のみであることから、目標については一部達成できたと評価する。このことから、引き続き同様の目標とし、計画としては、これまで参加に結びついていない団体等に声がけを行い、実施することとした。   【活動目標】 ・保健医療福祉連携会議（以下「連携会議」という。）等を通して関係機関との連携の継続、地域密着型事業所との連携が行え、新規相談に結び付ける事ができる。   【評価】 ・連携会議からの相談については、旧4町村ごとに各月にて開催することができており、介護支援専門員、警察、消防、医療機関からの相談もあり、関係機関との連携ができ、新規相談に結び付き円滑に対応が行えたことから目標は達成できたと評価する。また、地域密着型事業所との連携強化については、地域密着型運営推進会議（以下「運営推進会議」という。）への出席を通して早期相談の周知を実施することができ、早期相談への意識を高める関わりが行えたと評価する。上記内容から連携会議や運営推進会議を通じた連携強化、早期対応が行えたため、目標は達成したと評価する。定期的に連携会議を開催することで関係機関との顔の見える関係づくりが行えており、早期対応に結びついている。このことから、次年度についても、今年度と同様の目標とし、継続的に開催し、連携強化を図ることとしたい。																																																				
	○相談者の続柄内訳（延・重複あり） (件)																																																							
	<table><tr><th></th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>本人</td><td>390</td><td>337</td><td>379</td></tr><tr><td>家族親族</td><td>253</td><td>257</td><td>228</td></tr><tr><td>民生委員</td><td>20</td><td>15</td><td>40</td></tr><tr><td>町会・在宅福祉委員</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>知人・近隣住民</td><td>10</td><td>7</td><td>14</td></tr><tr><td>介護支援専門員</td><td>46</td><td>71</td><td>59</td></tr><tr><td>介護保険事業所職員</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td></tr><tr><td>医療機関</td><td>31</td><td>53</td><td>41</td></tr><tr><td>行政機関職員</td><td>22</td><td>38</td><td>27</td></tr><tr><td>警察・消防署職員</td><td>4</td><td>3</td><td>6</td></tr><tr><td>民間企業</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>その他</td><td>16</td><td>14</td><td>23</td></tr></table>					R4年度	R5年度	R6年度	本人	390	337	379	家族親族	253	257	228	民生委員	20	15	40	町会・在宅福祉委員	3	0	0	知人・近隣住民	10	7	14	介護支援専門員	46	71	59	介護保険事業所職員	9	9	9	医療機関	31	53	41	行政機関職員	22	38	27	警察・消防署職員	4	3	6	民間企業	4	3	2	その他	16	14	23
		R4年度	R5年度		R6年度																																																			
	本人	390	337		379																																																			
	家族親族	253	257		228																																																			
	民生委員	20	15		40																																																			
	町会・在宅福祉委員	3	0		0																																																			
	知人・近隣住民	10	7		14																																																			
	介護支援専門員	46	71		59																																																			
介護保険事業所職員	9	9	9																																																					
医療機関	31	53	41																																																					
行政機関職員	22	38	27																																																					
警察・消防署職員	4	3	6																																																					
民間企業	4	3	2																																																					
その他	16	14	23																																																					
○相談内容内訳（延・重複あり） (件)																																																								
<table><tr><th></th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>介護保険・総合事業</td><td>345</td><td>415</td><td>484</td></tr><tr><td>保健福祉サービス</td><td>277</td><td>284</td><td>34</td></tr><tr><td>介護予防</td><td>31</td><td>35</td><td>224</td></tr><tr><td>心身の健康</td><td>30</td><td>27</td><td>17</td></tr><tr><td>認知症</td><td>25</td><td>24</td><td>48</td></tr><tr><td>住まい</td><td>19</td><td>17</td><td>35</td></tr><tr><td>権利擁護</td><td>14</td><td>2</td><td>17</td></tr><tr><td>安否確認</td><td>8</td><td>0</td><td>6</td></tr><tr><td>その他</td><td>4</td><td>25</td><td>0</td></tr></table>				R4年度	R5年度	R6年度	介護保険・総合事業	345	415	484	保健福祉サービス	277	284	34	介護予防	31	35	224	心身の健康	30	27	17	認知症	25	24	48	住まい	19	17	35	権利擁護	14	2	17	安否確認	8	0	6	その他	4	25	0														
	R4年度	R5年度	R6年度																																																					
介護保険・総合事業	345	415	484																																																					
保健福祉サービス	277	284	34																																																					
介護予防	31	35	224																																																					
心身の健康	30	27	17																																																					
認知症	25	24	48																																																					
住まい	19	17	35																																																					
権利擁護	14	2	17																																																					
安否確認	8	0	6																																																					
その他	4	25	0																																																					
②利用調整内訳（サービス種別） (件)																																																								
<table><tr><th></th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>生活援助員派遣</td><td>8</td><td>8</td><td>4</td></tr><tr><td>外出支援サービス</td><td>115</td><td>117</td><td>59</td></tr><tr><td>除排雪サービス</td><td>67</td><td>11</td><td>37</td></tr><tr><td>ショートステイサービス</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>緊急通報システム</td><td>29</td><td>31</td><td>39</td></tr></table>				R4年度	R5年度	R6年度	生活援助員派遣	8	8	4	外出支援サービス	115	117	59	除排雪サービス	67	11	37	ショートステイサービス	2	3	4	緊急通報システム	29	31	39																														
	R4年度	R5年度	R6年度																																																					
生活援助員派遣	8	8	4																																																					
外出支援サービス	115	117	59																																																					
除排雪サービス	67	11	37																																																					
ショートステイサービス	2	3	4																																																					
緊急通報システム	29	31	39																																																					
○ネットワーク構築																																																								
①保健医療福祉連携会議開催回数 (回)																																																								
<table><tr><th></th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>戸井地区</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td></tr><tr><td>恵山地区</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td></tr><tr><td>椹法華地区</td><td>3</td><td>4</td><td>6</td></tr><tr><td>南茅部地区</td><td>4</td><td>6</td><td>6</td></tr></table>				R4年度	R5年度	R6年度	戸井地区	6	6	6	恵山地区	6	6	6	椹法華地区	3	4	6	南茅部地区	4	6	6																																		
	R4年度	R5年度	R6年度																																																					
戸井地区	6	6	6																																																					
恵山地区	6	6	6																																																					
椹法華地区	3	4	6																																																					
南茅部地区	4	6	6																																																					
②地域密着型サービス運営推進会議 ・グループホームさらさの杜：4回出席 ・小規模多機能あいある小安：4回出席 ・小規模多機能潮太郎：1回出席																																																								

令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・高齢者が自身の食生活の問題に気づくことができる。</p> <p>・連携会議等を通して関係機関との連携の継続、地域密着型事業所との連携が行え、相談に結び付けることができる。</p>	<p>○高齢者が食生活の問題に気づけるよう栄養教室を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戸井地区元気ハツラツ料理教室。</li> <li>・新たな開催場所の発掘、声がけ。</li> <li>・各自主グループや関係団体等と検討を行い実施する。（楸法華地区）</li> </ul> <p>○連携会議の開催（※隔月開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・偶数月～戸井地区（クリニック、薬局、戸井支所、居宅介護支援事業所、駐在所、消防署）</li> <li>・偶数月～恵山地区（市立函館恵山病院、駐在所、消防署、恵山支所、居宅介護支援事業所）</li> <li>・奇数月～楸法華地区（クリニック、消防署、駐在所、楸法華支所、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所）</li> <li>・奇数月～南茅部地区（市立函館南茅部病院、薬局2か所、駐在所、南茅部支所、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所）</li> </ul> <p>○広報紙の配布（設置）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郵便局：11か所</li> <li>・漁業協同組合：11か所</li> <li>・金融機関：1か所</li> <li>・消防署：3か所</li> <li>・駐在所：8か所</li> <li>・病院：2か所</li> <li>・クリニック：3か所</li> <li>・歯科：5か所</li> <li>・薬局：5か所</li> <li>・学校：8か所（戸井学園、えさん小学校、恵山中学校、楸法華小学校、楸法華中学校、南茅部小学校、南茅部中学校、南茅部高校）</li> <li>・戸井幼稚園、セイコーマート小安店、尾札部店、ローソン恵山海浜公園店、南茅部店、セブンイレブン恵山店、南茅部店、イエローグローブ南茅部店、ニコット恵山店、サツドラ川汲店、函館運転免許試験所</li> </ul> <p>○民生児童委員協議会定例会、在宅福祉委員会との意見交換を継続的に実施する。</p> <p>○見守りネットワーク事業の実施の際に、民生児童委員（以下「民生委員」という。）との情報共有を密にし、対象世帯の実態把握を実施する。</p> <p>○運営推進会議への出席を通して、センターへの早期相談のメリットや相談のタイミングの共有を図る。</p> <p>○行政支所市民福祉課との意見交換の機会を設け、連携を図る。（必要時）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教室の開催回数</li> <li>・高齢者参加者数</li> <li>・新たな開催場所</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者の続柄</li> <li>・相談内容</li> <li>・利用調整</li> <li>・広報啓発活動</li> <li>・ネットワーク構築</li> <li>・連携会議を通じた相談件数</li> <li>・新たな連携機関</li> </ul>

(イ) 権利擁護業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第2号

【目的】高齢者等が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者等の権利擁護のため、必要な支援を行う。

令和6年度 活動評価	
事業内容	

令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
・地域住民や関係機関が異変に気づき、相談に結びつけることができる。	<p>○権利擁護業務に関する出前講座を開催することで、相談窓口としての周知を図り、軽微な事例であっても気軽に相談できる意義付けを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護をテーマにした出前講座を開催する。</li> <li>・民生委員協議会定例会の場を活用した周知を行う。</li> <li>・社協各支所の事業開催時にパンフレットを配布する。</li> </ul> <p>○医療機関へセンターの役割の周知を継続して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙の発行及び医療機関への配布依頼を継続する。</li> </ul> <p>○連携会議を継続して開催し、対応についてのフィードバックを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域サロン、老人クラブでの出前講座を開催する。</li> <li>・広報紙に権利擁護についての記事を掲載する。</li> </ul> <p>○ネットワークが構築されている圏域内の各医療機関から、連携会議等の開催などを通して、支援が必要な高齢者の情報を早期に把握する。</p> <p>○成年後見センター、消費生活センター、警察等関係機関からの情報を活用し、常に新しい情報を提供することを意識して出前講座を開催する。</p> <p>○老人クラブやサロンなど様々な場を利用して、多くの地域住民に地域の見守りの重要性について、繰り返し普及啓発を行う。</p> <p>○広報紙に権利侵害についての記事を掲載し、各種事業で配布するとともに、幅広い層の住民が入手できるよう、年1回全戸配布する。</p> <p>○圏域内の関係機関との事例検討会を開催し、関係機関との連携強化を図る。</p> <p>○圏域内支所との意見交換の場を設け、相談内容等の共有を図り、相談内容に応じた連携方法を検討し連携強化を図る。</p> <p>○消防へ連携会議への出席を依頼し、連携の必要性を説明し、連携強化を図る。</p> <p>○警察との連携強化のため、戸井地区、恵山地区、楳法華地区の警察機関に連携会議への参画を依頼し、連携強化を図る。</p> <p>※南茅部地区については、既に参画している。</p>	<p>○権利擁護相談対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対応件数</li> <li>・対応事案内訳</li> <li>・相談、対応者内訳</li> </ul> <p>○高齢者虐待対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通報件数</li> <li>・通報者内訳</li> <li>・虐待実件数</li> <li>・虐待対応件数(実)</li> <li>・終結件数(実)</li> <li>・個別ケース連携数</li> <li>・ネットワーク構築方法</li> <li>・ネットワーク構築機関</li> <li>・高齢者虐待通報者内訳</li> <li>・権利擁護にかかる広報啓発回数</li> <li>・高齢者虐待、消費者被害、成年後見制度</li> <li>・出前講座、講師派遣の依頼機関</li> </ul>

## (イ) 権利擁護業務

令和6年度 活動評価	
事業内容	

令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
・センター職員の全職種が権利擁護のスキルアップを図ることで関係機関より、相談が入り対応することができる。	<p>○権利擁護に関する職員の対応力の向上を図る。終結を意識した支援の在り方を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護に関する研修会に参加する。</li> <li>・全職種で情報共有を図るとともにケース検討を行う。 (アセスメント、課題の抽出・分析を共有しながら支援の視点を養い、常に問題を共有する場を持ち、ケースの振り返りを行う)</li> <li>・センター内部での権利擁護(成年後見制度等)に関する研修会を開催する。</li> </ul> <p>○権利擁護相談の内容によって、適切な関係機関と連携し支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見センターとの連携</li> <li>・消費者センターとの連携</li> <li>・法テラスとの連携</li> <li>・行政、障がい分野などの関係機関との連携</li> <li>・問題が複雑化しているケースに対し、必要な機関とのつながりを意識する。</li> <li>・必要時は、他機関を含めた個別地域ケア会議やカンファレンスを取り入れる。</li> </ul> <p>○高齢者虐待や困難ケースについては、センター内ミーティングやケースカンファレンスを通して支援状況や方向性を確認し、アセスメントの強化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護に関する相談件数</li> <li>・研修会や事例研修会の開催回数、参加機関数および参加者数</li> <li>・研修会や事例研修会の参加回数</li> </ul>

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第3号

【目 的】高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的に支援していくための地域における多職種相互の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援を行う。

令和6年度 活動評価																																																																													
事業内容																																																																													
実績（実施回数、内容、実施方法等）																																																																													
活動目標に対する評価																																																																													
包括的 継続的 ケアマネジメント 支援業務	○介護支援専門員への個別支援状況（実） <div>(件)</div> <table><tr><td></td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr><tr><td>ケース数</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>終結数</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>終結率</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr></table>		R4年度	R5年度	R6年度	ケース数	1	2	2	終結数	1	2	2	終結率	100.0%	100.0%	100.0%	【活動目標】 ・介護支援専門員のケアマネジメント力の向上ができる。  【評 価】 ・令和6年6月より主任ケアマネ部会において新たに事例検討会を実施し、実践の振り返り、情報提供、検討したい事項などを協議してきた。初年度としては、共有し、話し合い、気づきに変えて資質の向上、地域連携、課題の絞り込み、ケアマネジメントの向上ができるよう意識して取り組むことができた。来年度上半期までケースを集積し、その後、集計、分析、検証を予定していることから目標は一部達成したと評価する。																																																											
		R4年度	R5年度	R6年度																																																																									
	ケース数	1	2	2																																																																									
	終結数	1	2	2																																																																									
	終結率	100.0%	100.0%	100.0%																																																																									
	・相談者（重複あり） <div>(件)</div> <table><tr><td></td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr><tr><td>ケアマネ</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>本人</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>家族</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>行政</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>その他</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>		R4年度	R5年度	R6年度	ケアマネ	1	1	1	本人	0	0	0	家族	0	1	1	行政	0	0	0	その他	0	0	0	【活動目標】 ・介護支援専門員が社会資源を活用し、支援できる。  【評 価】 ・社会資源一覧データベースを作成し、職員が新たに把握したものを追加登録できた。また、社会資源の情報を地域で活動している介護支援専門員へ情報提供し、活用を促した。このことから目標は達成できたと評価する。今後、圏域内の介護支援専門員数の減少により旧市内からの介護支援専門員が参入し、活動することが予測されるため、地域の状況を周知するツールとして活用ができるものと評価する。																																																			
		R4年度	R5年度	R6年度																																																																									
	ケアマネ	1	1	1																																																																									
	本人	0	0	0																																																																									
	家族	0	1	1																																																																									
	行政	0	0	0																																																																									
	その他	0	0	0																																																																									
	・支援内容 <div>(件)</div> <table><tr><td></td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr><tr><td>情報提供</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>支援方針助言</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td></tr><tr><td>計画作成助言</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>地域とのつながり</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>ケアマネ変更支援</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>その他</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>		R4年度	R5年度	R6年度	情報提供	1	0	0	支援方針助言	1	0	2	計画作成助言	0	0	0	地域とのつながり	0	0	0	ケアマネ変更支援	0	1	0	その他	0	1	1	【活動目標】 ・介護支援専門員が他機関の専門職や地域の支援者とながり連携できる。  【評 価】 ・介護支援専門員が連携会議に定期的、継続的に参加することで情報、課題を共有し、関係者とながり連携することができた。しかし、圏域外の居宅介護支援専門員が地域の関係者とながりの取り組みが、今後必要であると考えことから、次年度以降も引き続き継続することとしたい。																																															
		R4年度	R5年度	R6年度																																																																									
	情報提供	1	0	0																																																																									
	支援方針助言	1	0	2																																																																									
	計画作成助言	0	0	0																																																																									
	地域とのつながり	0	0	0																																																																									
	ケアマネ変更支援	0	1	0																																																																									
	その他	0	1	1																																																																									
・支援に至った経緯 <div>(件)</div> <table><tr><td></td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr><tr><td>ケアマネ自身の問題</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td></tr><tr><td>対人援助技術</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>支援の不足</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>対象者の問題</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>認知症による</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>精神疾患による</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>支援拒否</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>不適切な要求</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>気質・性格の問題</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>ケアプラン作成過程</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>多職種連携</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>関連制度理解</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>医療連携</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>家族関係の問題</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>事業所の問題</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>サービス調整</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>地域連携・社会資源</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>その他</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>		R4年度	R5年度	R6年度	ケアマネ自身の問題	0	0	2	対人援助技術	0	1	1	支援の不足	0	1	1	対象者の問題	1	2	1	認知症による	0	1	1	精神疾患による	1	0	0	支援拒否	0	1	0	不適切な要求	0	0	0	気質・性格の問題	0	0	0	ケアプラン作成過程	0	0	0	多職種連携	0	0	1	関連制度理解	1	0	0	医療連携	0	0	0	家族関係の問題	1	0	0	事業所の問題	0	0	0	サービス調整	0	0	0	地域連携・社会資源	0	0	0	その他	0	0	0	
	R4年度	R5年度	R6年度																																																																										
ケアマネ自身の問題	0	0	2																																																																										
対人援助技術	0	1	1																																																																										
支援の不足	0	1	1																																																																										
対象者の問題	1	2	1																																																																										
認知症による	0	1	1																																																																										
精神疾患による	1	0	0																																																																										
支援拒否	0	1	0																																																																										
不適切な要求	0	0	0																																																																										
気質・性格の問題	0	0	0																																																																										
ケアプラン作成過程	0	0	0																																																																										
多職種連携	0	0	1																																																																										
関連制度理解	1	0	0																																																																										
医療連携	0	0	0																																																																										
家族関係の問題	1	0	0																																																																										
事業所の問題	0	0	0																																																																										
サービス調整	0	0	0																																																																										
地域連携・社会資源	0	0	0																																																																										
その他	0	0	0																																																																										



令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・圏域外の介護支援専門員が社会資源を活用し、支援できる。</p>	<p>○東部（旧4町村）地域における社会資源（フォーマル・インフォーマル）を把握し、一覧を作成のうえ介護支援専門員へ周知（1年間で集約）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーマル（医療・介護）</li> <li>・インフォーマル（買い物・通院・自主活動など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資源一覧の追加</li> <li>・居宅介護支援事業所への周知数</li> </ul>
<p>・介護支援専門員が他機関の専門職や地域の支援者となつたり連携できる。</p>	<p>○連携会議（戸井・恵山・榎法華・南茅部）</p> <p>「医師・看護師・薬局・支所・消防・駐在所・介護サービス事業所・居宅介護支援事業所」において隔月に開催する多職種連携・情報共有・地域連携など圏域の介護支援専門員と関係者がつながり・活動することへの意識づけを図る。</p> <p>○個別ケースの検討を行う地域ケア会議</p> <p>対象となるケースがあった場合、地域ケア会議を通して、介護支援専門員が地域の支援者となつたり連携ができるように開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携会議数</li> <li>・個別ケア会議数</li> </ul>

## (ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

事業内容	令和6年度 活動評価			
	実績（実施回数、内容、実施方法等）		活動目標に対する評価	
包括的 継続的 ケアマネジメント 支援業務	1.合同ケアマネジメント研修開催状況		【活動目標】	
	① 開催日時 会場		・対象者及び家族の背景因子に着目し個々に寄り添った対人援助ができる。	
	1回目 令和6年10月17日（木）			
	2回目 令和6年10月18日（金）			
	会場 函館市亀田交流プラザ（講堂）			
	・テーマ： 個を意識した情報収集と課題分析			
	② 開催回数 (回)		【評 価】①	
		R4年度 R5年度 R6年度	・3年計画の2年目の開催となり、アセスメントから課題分析をテーマに開催した。集合とWEBのハイブリットで実施し、居宅介護支援事業所の市内全体での参加率は89.1%で前年度より増加した。参加者の研修への理解度については9割強が理解できた状況であったが、圏域では、33.0%の参加率であることから、研修目標は一部達成できたと評価する。参加者からはアセスメントの重要性がわかり今後の支援に役立たせていきたい、特有の価値観への理解力や仮説をたてることなどわかりやすく学ぶことができたとの感想が得られた。来年度は最終年となり多くの介護支援専門員がインテークからアセスメント、ケアプラン立案、実施、モニタリング、再アセスメントに至る一連の過程で必要なスキルが向上し、自立支援を意識したケアマネジメントを行うことができることを目指す。	
	開催回数	2 2 2		
	③ 圏域の参加状況		【評 価】②	
		・圏域内における居宅介護支援事業所数が3か所あり、各1名ずつの介護支援専門員配置となっており参加率は100%であった。そのほか小規模多機能居宅介護事業所より1名、特別養護老人ホームより1名の参加があり居宅以外の参加も前年度比で1名増加となっている。課題としては参加人数が少ないことから居宅介護支援事業以外の事業所参加増や圏域で活動されている委託している居宅介護支援事業所の介護支援専門員への参加を検討していきたい。		

令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
・利用者自身や地域の強みを生かした自立支援を意識したケアマネジメントができる	<p>①合同ケアマネジメント研修の開催（2回）</p> <p>〈開催日〉 令和7年9月18日（木） 令和7年9月19日（金）</p> <p>〈テーマ〉 「その人らしさ」を意識したケアプランの作成</p> <p>〈会 場〉 函館市亀田交流プラザ 講堂</p> <p>〈研修形態〉 講義・演習（ハイブリッド）</p> <p>〈内 容〉 ・ケアプランとは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフケアや社会資源の活用</li> <li>・自立支援に資するケアマネジメントについて 等</li> </ul> <p>〈講師〉 みつばウエルビーイング株式会社 代表取締役 山内知樹 氏</p> <p>② 圏域内ケアマネジメント研修の開催（1回）</p> <p>〈開催時期〉 令和8年1月以降</p> <p>〈内 容〉 合同ケアマネジメント研修の振り返り アンケートの実施</p> <p>○圏域内ケアマネジメント研修のアンケート報告・課題、情報共有</p>	<p>・ケアマネジメント研修開催回数（多職種連携、主任介護支援専門員連携）</p> <p>・参加数（率）</p> <p>・アンケート結果</p>

(I) 地域ケア会議推進事業

【根拠法令】介護保険法第115条の48

【目的】地域包括ケアシステムの構築のため、地域ケア会議を開催し、介護サービスだけでなく、様々な社会資源が有機的に連携することができる環境を整備し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう支援を行う。

事業内容	令和6年度 活動評価																													
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																												
個別ケースの検討を行う地域ケア会議	○個別ケースの検討を行う地域ケア会議  ・開催状況 (回) <table><tr><td></td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr><tr><td>目標数値</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>開催回数</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>達成率</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr></table>  ・開催内容 <table><tr><th>開催月</th><th>地区</th><th>ケース概要</th></tr><tr><td>3月</td><td>戸井</td><td>認知症で独居。 玄関前に穴を掘る行動障害あり。 認知症の方への地域の理解と協力が必要。</td></tr><tr><td>3月</td><td>戸井</td><td>精神不安定で独居。 落ち着かず「便出ない殺してくれ」と娘や親戚、知人、包括へ電話で訴えあり。 入退院し地域での見守りや理解が必要。</td></tr><tr><td>3月</td><td>南茅部</td><td>息子（次男・3男）と3人暮らし。 次男からの身体的・心理的虐待疑いも本人は次男をかばい否定。 地域関係者のネットワークが必要。</td></tr></table>		R4年度	R5年度	R6年度	目標数値	3	3	3	開催回数	3	3	3	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	開催月	地区	ケース概要	3月	戸井	認知症で独居。 玄関前に穴を掘る行動障害あり。 認知症の方への地域の理解と協力が必要。	3月	戸井	精神不安定で独居。 落ち着かず「便出ない殺してくれ」と娘や親戚、知人、包括へ電話で訴えあり。 入退院し地域での見守りや理解が必要。	3月	南茅部	息子（次男・3男）と3人暮らし。 次男からの身体的・心理的虐待疑いも本人は次男をかばい否定。 地域関係者のネットワークが必要。	【活動目標】 ・高齢者やその家族の課題について、地域と専門職、さらに自立相談支援機関と協働し支援内容を検討できる。  【評価】 ・連携会議を活用することにより多職種連携、地域連携、情報共有、関係者とのつながりやネットワークの構築ができており、関係者からの情報を得て個別ケースの検討を行う地域ケア会議へ展開し高齢者やその家族の課題について地域と専門職が協働し、支援内容を検討することができた。 ・複雑化、複合化したケースでは支援が困難であるため、高齢担当および自立支援担当が協働し、問題共有、問題解決に向けて支援にあたる必要があるため、エコマップ・ジェノグラムを用い、今後の支援方針、役割分担を決め取り組みを進めてきた。今後もケース検討を積み重ねチームとして機能するためスキル向上を目指す。 上記内容より目標については達成できたと評価するが、継続した取組が必要である事から次年度も継続した目標とする。
		R4年度	R5年度	R6年度																										
目標数値	3	3	3																											
開催回数	3	3	3																											
達成率	100.0%	100.0%	100.0%																											
開催月	地区	ケース概要																												
3月	戸井	認知症で独居。 玄関前に穴を掘る行動障害あり。 認知症の方への地域の理解と協力が必要。																												
3月	戸井	精神不安定で独居。 落ち着かず「便出ない殺してくれ」と娘や親戚、知人、包括へ電話で訴えあり。 入退院し地域での見守りや理解が必要。																												
3月	南茅部	息子（次男・3男）と3人暮らし。 次男からの身体的・心理的虐待疑いも本人は次男をかばい否定。 地域関係者のネットワークが必要。																												
自立支援型地域ケア会議	○自立支援型地域ケア会議 開催日時：令和6年10月16日（水）14時～16時 会場：函館市役所8階第1会議室 事例提供者：圏域の居宅介護支援事業所	・自立支援型地域ケア会議では、圏域内の居宅介護支援事業所の介護支援専門員の協力のもと、介護支援専門員等がリハビリテーション専門職および栄養士等の専門職と連携し、身体的自立に着目したケース検討を行い、他の専門職よりアドバイス、助言により新たな気づきを得ることができた。  ・次年度以降も高齢者やその家族の抱える課題について、地域と専門職、自立相談支援担当などと協働し、支援内容を検討したい。																												

令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
・高齢者やその家族の課題について、地域と専門職、さらに自立相談支援機関と協働し支援内容を検討できる。	<p>○地域の関係者から個別ケースを情報収集するためのネットワーク構築</p> <p>○連携会議の開催（※隔月開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・偶数月～戸井地区（クリニック、薬局、戸井支所、居宅介護支援事業所、駐在所、消防署）</li> <li>・偶数月～恵山地区（市立函館恵山病院、駐在所、消防署、恵山支所、居宅介護支援事業所）</li> <li>・奇数月～楸法華地区（クリニック、消防署、駐在所、楸法華支所、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所）</li> <li>・奇数月～南茅部地区（市立函館南茅部病院、薬局2か所、駐在所、南茅部支所、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所）</li> </ul> <p>○個別ケースをセンター内で共有、協議し、地域ケア会議の必要性および事例の方向性を検討、また自立支援相談機関と協働及び役割分担しチームで支援内容を検討する。</p> <p>○個別ケースの検討を行う地域ケア会議の開催 年3回開催（ケース相談に応じ随時開催）</p> <p>○自立支援型地域ケア会議の参加、高齢者の身体的自立に着目し、地域と専門職が協働し、支援内容の検討を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数・計画達成率</li> <li>・ケースの概要</li> <li>・連携会議の回数</li> </ul>

## (I) 地域ケア会議推進事業

事業内容	令和6年度 活動評価			
	実績（実施回数、内容、実施方法等）		活動目標に対する評価	
地域課題の検討を行う地域ケア会議	○地域課題の検討を行う地域ケア会議			
	・開催状況 (回)			
		R4年度	R5年度	R6年度
	目標数値	2	2	2
	開催回数	2	2	2
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%
	・テーマおよび主な参加機関			
	令和6年10月31日（木） 南茅部総合福祉センター			
	テーマ	支え合いの地域づくり（第1回目）		
	参加機関	町内会、高校、郵便局、漁協女性部、ボランティア連絡協議会、函館老人クラブ連合会、女性団体、行政、保健事務所、駐在所、薬局、商工会、地域活動グループ、居宅介護支援事業所、介護事業所		
令和7年3月6日（木） 南茅部総合福祉センター				
テーマ	支え合いの地域づくり（第2回目）			
参加機関	町内会、高校、郵便局、漁協女性部、ボランティア連絡協議会、函館老人クラブ連合会、女性団体、社会福祉協議会、特別養護老人ホーム、行政、保健事務所、駐在所、薬局、商工会、地域活動グループ、居宅介護支援事業所、介護事業所			
○地域ケア会議にかかる広報・啓発活動				
(回)				
	R4年度	R5年度	R6年度	
地域ケア会議	20	29	18	
地域の見守り	6	18	2	
	【活動目標】			
	・地域住民・関係機関等の情報共有・関係者がつながり・連携・協働を図ることができる。			
	【評価】			
	・地域の問題、問題が生じている要因を分析し、行政、社協、地域の関係機関や民生委員、町内会、介護事業者等、参加者一同で地域課題を整理し共有が図られ、地域の事を一緒に考える機会持つことができ、自分たちの地域を「見る」「知る」、また、関係者が「つながる」取り組みができた。			
	あらゆる世代の方々、関係機関、団体が地域でつながることの大切さを実感し、地域の課題を自分自身の課題と捉え地域全体で解決に取り組むことが必要であり、そのきっかけを作ることができた。対象となる南茅部地区については、2か年計画で進めていることから、次年度は、課題解決に向けて支え合いについて考え、地域で取り組める支え合い活動について検討することとした。上記内容から目標は一部達成したと評価する。			
	【活動目標】			
	・支え合いの地域づくりや地域の見守りの必要性を知ることができる。			
	【評価】			
	・広報紙を通じて地域ケア会議の取り組み記事を掲載した広報紙を全戸配布し、地域住民の幅広い層に周知することができた。出前講座等で支え合いや見守りについて説明すると理解し、活動もできているため、目標は達成できた。また、個別ケア会議により災害時への住民理解が必要であるとの声があったことから、次年度は、災害に備えるため、準備や対応の重要性を理解することができるとを目標としたい。			

令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・地域住民と関係機関が地域の課題解決に向けての支え合いを考え地域で取り組める支え合い活動について検討する。</p>	<p>○地域課題の検討を行う地域ケア会議（支え合いの地域づくりのつどい）を開催し、地域の現状と課題を確認、共有し、各地域において抽出された課題について住民自身が課題解決に向けて可能な取り組みを検討する。</p> <p>新たな取り組みの創出だけでなく、地域で既に取り組まれている活動等に光を当て地域の良さを再確認する。また、地域づくりのためには、より多くの住民が地域づくりに参加し、お互いが協力し合い地域のつながりを深めて行くことが重要と考え、地域に愛着を持ってもらうよう意識啓発をする。</p> <p>（到達目標）</p> <p>・地域住民と関係機関が圏域内の地域課題を共有し、地域づくりや地域に必要なと考えられる資源開発などにより地域課題を解決するための社会基盤づくりが行える。</p> <p>（対象地区）</p> <p>南茅部地区</p> <p>（開催内容）</p> <p>・現状把握と課題整理・地域アンケート実施・必要な支え合いの検討計4回開催</p> <p>（開催時期）※2カ年にわたり実施予定</p> <p>第1回目/令和6年10月開催（令和6年度）実施済</p> <p>第2回目/令和7年2月開催（令和6年度）実施済</p> <p>第3回目/令和7年6月開催（令和7年度）</p> <p>第4回目/令和7年10月開催（令和7年度）</p>	<p>・開催回数・計画達成率</p> <p>・検討内容</p>
<p>・災害に備えるため、準備や対応の重要性を理解することができる。</p>	<p>○地域住民が災害に備えるため、準備や対応の重要性を理解することができるよう、出前講座や地域会議の開催により広報、啓発を行う。</p> <p>○町会と連携し、災害に関する勉強会を開催する。</p> <p>○広報紙に、災害に備えることの重要性について話し合われた地域ケア会議の記事を掲載し、地域住民に周知を図る。</p>	<p>・地域ケア会議による広報・啓発回数</p> <p>・地域の見守りによる広報・啓発回数</p> <p>・地域ケア会議の開催</p>

イ 生活支援体制整備事業

(7) 第2層生活支援コーディネーター業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第5号

【目 的】地域における住民主体の助け合い活動を促進する仕組みおよび高齢者の社会参加を促進する仕組みの創出ならびに充実を行う。

事業内容	令和6年度 活動評価			
	実績（実施回数、内容、実施方法等）		活動目標に対する評価	
地域のネットワーク構築   <				



令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民と関係機関が圏域の地域の課題解決に向けての支え合いを考え地域で取り組める支え合い活動について検討する。</li> <li>・地域住民が地域での活動や支え合いの必要性を知ることができる。</li> </ul>	<p>○地域課題の検討を行う地域ケア会議（支え合いの地域づくりのつどい）を開催し、地域の現状と課題を確認、共有し、各地域において抽出された課題について住民自身が課題解決に向けて可能な取り組みを検討する。</p> <p>新たな取り組みの創出だけでなく、地域で既に取り組まれている活動等に光を当て地域の良さを再確認する。また、地域づくりのためには、より多くの住民が地域づくりに参加し、お互いが協力し合い地域のつながりを深めて行くことが重要と考え、地域に愛着を持ってもらうよう意識啓発をする。</p> <p>（到達目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民と関係機関が圏域内の地域課題を共有し、地域づくりや地域に必要と考えられる資源開発などにより地域課題を解決するための社会基盤づくりが行える。</li> </ul> <p>（対象地区）</p> <p>南茅部地区</p> <p>（開催内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状把握と課題整理・地域アンケート実施・必要な支え合いの検討</li> </ul> <p>計4回開催</p> <p>（開催時期）※2カ年にわたり実施予定</p> <p>第1回目/令和6年10月開催（令和6年度）実施済</p> <p>第2回目/令和7年2月開催（令和6年度）実施済</p> <p>第3回目/令和7年6月開催（令和7年度）</p> <p>第4回目/令和7年10月開催（令和7年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数・計画達成率</li> <li>・検討内容</li> </ul>

(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務

事業内容		令和6年度 活動評価																	
		実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																
第2層生活支援コーディネーター活動	○自主グループへの支援	○自主グループへの支援	【活動目標】 ・元気高齢者が地域活動に関心や興味を持つことができる。																
	①若々体操の会活動支援 1回	①若々体操の会活動支援 1回 リーダーが中心となって運営できているが、会場確保に係る支援が必要であるため、次年度以降も支援の希望がある。	【評価】 ・今年度、新規に活動の立ち上げを2か所実施することができた。旧4町村ごとに活動の場を立ち上げることができたが、目標を達成するための準備ができた段階であるため、目標は一部達成できたと評価する。 ・今後については、現在の活動を継続的に維持することで地域住民が社会参加や地域活動への関心や興味を持つことにつながるため、活動が維持継続できるように支援することとしたい。 ・目標についても、継続した内容で取り組むこととしたい。																
住民主体の助け合い活動等の重要性についての普及啓発	②汐首町会 汐首わくわくサロン活動支援 9回	②汐首町会 汐首わくわくサロン活動支援 9回 リーダーが中心となり進行できているが、今後の関わりの希望があり、継続的に支援を進めたい。																	
	③瀬田来町 瀬田来サロン活動支援 9回	③瀬田来町 瀬田来サロン活動支援 9回 新規で活動を立ち上げ、活動支援を行った。次年度以降も活動の意向が確認できており、自主活動できるように支援を継続したい。																	
	④榎法華地区 とどほけサロン「たんぼぼ」活動支援 4回	④榎法華地区 とどほけサロン「たんぼぼ」活動支援 4回 新規で活動開始し、リーダーから依頼があったため活動支援を行った。継続活動に不安があるため、継続的に活動支援を実施したい。	【活動目標】 ・多世代交流を通して社会参加や生きがい活動が行える。																
	○地域の支え合いや介護予防にかかる広報・啓発活動	・開催回数 (回)	【評価】 ・戸井学園を中心に町会関係者や自主活動グループなど、普段学校と関わりの少ない方々が、学生と関わるきっかけとなった。継続的に多世代交流を実施することで高齢者の社会参加の促進や児童における高齢者への理解を深めることにつながると考えられるため、次年度以降も取り組みを継続したい。目標については、多世代交流会を実施したことで達成できたと評価するが、次年度も同様の目標で取り組むこととしたい。																
		<table><tr><th></th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>介護予防</td><td>3</td><td>19</td><td>2</td></tr><tr><td>地域の見守り</td><td>6</td><td>18</td><td>2</td></tr></table>		R4年度	R5年度	R6年度	介護予防	3	19	2	地域の見守り	6	18	2					
	R4年度	R5年度	R6年度																
介護予防	3	19	2																
地域の見守り	6	18	2																
	○広報啓発活動	(回)																	
		<table><tr><th></th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>広報紙の発行</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>パンフレット等の配布</td><td>25</td><td>37</td><td>31</td></tr><tr><td>出前講座・講師派遣</td><td>19</td><td>22</td><td>19</td></tr></table>		R4年度	R5年度	R6年度	広報紙の発行	2	2	2	パンフレット等の配布	25	37	31	出前講座・講師派遣	19	22	19	
	R4年度	R5年度	R6年度																
広報紙の発行	2	2	2																
パンフレット等の配布	25	37	31																
出前講座・講師派遣	19	22	19																
	○戸井学園モルック多世代交流大会																		
	1回目：令和6年8月20日（火）																		
	2回目：令和7年1月10日（金）																		
	○戸井学園餅つき体験多世代交流																		
	実施日：令和7年1月9日（木）																		
	○戸井学園餅つき体験多世代交流																		
	前年度も開催しており、ボランティアに協力していただき、高齢者の社会参加のきっかけや高齢者の支え手として児童にも意識してもらうきっかけとして実施した。																		

令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
・自主活動グループが継続して活動が行える。	<p>○自主活動グループに対する活動継続支援（出前講座含む） （戸井地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若々体操の会</li> <li>・汐首わくわくサロン</li> <li>・浜町運動教室</li> </ul> <p>（恵山地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気ハツラツ日ノ浜教室</li> <li>・元気ハツラツ恵山教室</li> </ul> <p>（南茅部地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会南茅部支所にて2カ所実施（出前講座にて支援）</li> </ul> <p>○新たに立ち上げた自主活動グループへの活動支援 （戸井地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬田来地区での取組を継続するための支援。</li> </ul> <p>（楢法華地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とどほっけサロン「たんぼぼ」が自主活動を行えるための支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動支援回数</li> <li>・栄養教室開催回数</li> <li>・出前講座回数</li> </ul>
・地域住民が多世代交流を通して社会参加や生きがい活動が行える。	<p>○介護予防への取り組みを広報紙を通して啓発することで、他地域での活動の様子を情報共有するとともに、介護予防への意識醸成を図る。</p> <p>○地域の支え合いや介護予防について町内会・民生児童委員協議会・在宅福祉委員会・老人クラブ・地域ケア会議・出前講座・外部主催研修自主活動グループ等に広報紙・リーフレット・パンフレットを配布し普及啓発を図る。</p> <p>○多世代交流の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戸井学園5年、6年生向けに地域のボランティアとマッチングを行い、餅つき体験交流会の実施を行う。</li> <li>・戸井教育事務所と協力し、高齢者の生きがい活動としてモルック交流会を開催する。</li> <li>・単年度での開催ではなく、継続開催ができるよう学校とも情報共有を行い、PTA等の参加も促し、児童、子育て世代、高齢者が共同で活動できるように関わりを持っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防にかかる広報・啓発回数</li> <li>・地域の見守りにかかる広報・啓発回数</li> <li>・多世代交流実施（有無）</li> </ul>

ウ 認知症総合支援事業

(ア) 認知症初期集中支援推進事業

(イ) 認知症地域支援・ケア向上事業

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第6号

【目的】認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症地域支援推進員を中心として、医療・介護等の連携強化等による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。

令和6年度 活動評価																	
事業内容																	
実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																
<p>（ア） 認知症初期集中支援推進事業</p> <p>1. 認知症初期集中支援チームとの連携</p> <p>・ 令和6年度事例実績なし</p> <p>・ チーム員会議への出席は、参集なし</p> <p>○認知症に関する相談内容内訳（延・重複あり）</p> <p>(件)</p> <table><tr><td></td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr><tr><td>認知症</td><td>15</td><td>21</td><td>35</td></tr></table> <p>○認知症に関する広報啓発</p> <p>(件)</p> <table><tr><td></td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr><tr><td>認知症広報啓発</td><td>28</td><td>11</td><td>16</td></tr></table> <p>（イ） 認知症地域支援・ケア向上事業</p> <p>2. 認知症サポーター養成講座の開催</p> <p>・ 令和6年8月19日：戸井学園 5・6年生向けに実施 9名</p> <p>（座学のほか、ロールプレイを通して認知症の方への接し方を実施）</p> <p>・ 令和6年10月22日：恵山中学校 2年生向けに実施 9名</p> <p>（座学のほか、ロールプレイを通して認知症の方への接し方や高齢者の疑似体験を実施）</p> <p>・ 令和6年10月24日：榎法華小学校5・6年生向けに実施 7名</p> <p>（座学のほか、ロールプレイを通して認知症の方への接し方を実施）</p> <p>・ 令和6年12月6日：えさん小学校5・6年生向けに実施 11名</p> <p>（座学のほか、ロールプレイを通して認知症の方への接し方を実施）</p> <p>3. 認知症地域支援推進員連絡会参加</p> <p>第1回 令和6年4月12日 参加</p> <p>第2回 令和7年3月13日 参加</p> <p>4. 認知症ケアパス普及に関して</p> <p>（配布先）</p> <p>（えさん小学校、戸井学園、榎法華小学校、恵山中学校、レインボー薬局戸井店、みなかわ調剤薬局、さくら薬局南かやべ店、戸井歯科診療所、杉山クリニック、榎法華クリニック、南茅部駐在所）</p>		R4年度	R5年度	R6年度	認知症	15	21	35		R4年度	R5年度	R6年度	認知症広報啓発	28	11	16	<p>【活動目標】</p> <p>・ 認知症の人や家族に早期に関わり対応が行える。</p> <p>【評 価】</p> <p>・ 認知症初期集中支援チームとしてのケース対応はなかったが、総合相談により認知症について対応を行い早期に対応できているため、目標は達成できたと評価する。認知症初期支援チームでの対応ケースがあれば、対象として検討するが、総合相談で対応できる場合、これまで同様の対応で実施することとし、次年度も同様の目標で取り組むこととしたい。</p> <p>【活動目標】</p> <p>・ 高齢者を支える若い世代が認知症に関する理解を深めることができる。</p> <p>【評 価】</p> <p>・ えさん小学校、恵山中学校、戸井学園、榎法華小学校への認知症サポーター養成講座を計画通り実施できた。南茅部小学校へは打診したが実施までに至らなかったため、引き続き声かけを行っていくこととし、南茅部中学校へも新たに打診することとしたい。上記内容から目標はほぼ達成できたと評価するが、継続した取り組みが重要であることから、次年度も同様の目標とし、取り組むこととしたい。</p>
	R4年度	R5年度	R6年度														
認知症	15	21	35														
	R4年度	R5年度	R6年度														
認知症広報啓発	28	11	16														

令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・認知症の人や家族に早期に関わり対応が行える。</p>	<p>○認知症初期集中支援チームとの連携・認知症初期集中支援チームとしての関わりが必要であるケースについては、チーム員として取り組むこととする。</p> <p>・チーム員会議への出席</p> <p>○認知症に関する広報啓発</p> <p>・出前講座や広報紙を通して広報啓発</p>	<p>・認知症初期集中支援チーム員会議の開催数</p> <p>・認知症に関する相談数</p> <p>・広報、啓発回数</p>
<p>・高齢者を支える若い世代が認知症に関する理解を深めることができる。</p>	<p>○認知症サポーター養成講座の開催</p> <p>・えさん小学校 5、6年生向けに実施</p> <p>・恵山中学校 2年生向けに実施</p> <p>・戸井学園 5、6年生向けに実施</p> <p>・楳法華小学校 5、6年生向けに実施</p> <p>・その他団体等については随時対応</p> <p>○認知症サポーター養成講座の開催への打診</p> <p>・南茅部小学校へ開催に向けて相談</p> <p>・南茅部中学校へ開催に向けて相談</p> <p>○広報啓発</p> <p>・出前講座や広報紙を通して広報啓発</p>	<p>・認知症サポーター養成講座の開催</p> <p>・新たに実施した機関</p> <p>・広報、啓発回数</p>

事業内容	令和6年度 活動評価	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価
認知症総合 支援事業	<p>5. 認知症カフェの開催</p> <p>日時：令和6年7月24日（水）、10：30～11：30</p> <p>場所：函館市戸井西部総合センター</p> <p>参加者数：20名</p> <p>講師：明治安田生命 佐賀井 道代氏</p> <p>「認知症の理解」</p> <p>「交流会」～血管年齢測定、ベジチェック測定</p> <p>主催：たんばぽの会、協力：地域包括支援センター社協</p> <p>日時：令和6年9月25日（水）、10：00～11：30</p> <p>場所：函館市生涯学習センター</p> <p>参加者数：20名</p> <p>講師：明治安田生命 矢尾板氏</p> <p>「MYライフ&amp;エンディングを考えよう」</p> <p>「交流会」～血管年齢測定、AGE s センター測定</p> <p>主催：たんばぽの会、協力：地域包括支援センター社協</p>	<p>【活動目標】</p> <p>・認知症の人やその家族が集い情報共有や支え合いが行える。</p> <p>【評 価】</p> <p>・目標に対して計画した事業を開催できたため、目標は達成できたと評価する。</p> <p>・認知症カフェの開催については、継続的に実施していく必要があるため、昨年と同様の計画内容とし、目標については、継続的に取り組む必要があることから次年度も同様の目標で取り組むこととしたい。</p>
	<p>6. 認知症地域支援推進員活動について</p> <p>第1回認知症地域支援推進員連絡会議：令和6年4月12日</p> <p>第2回認知症地域支援推進員連絡会議：令和7年3月13日</p> <p>・世界アルツハイマー月間イベント</p> <p>打ち合わせ会議1回目:令和6年4月25日</p> <p>打ち合わせ会議2回目:令和6年5月10日</p> <p>打ち合わせ会議3回目:令和6年5月23日</p> <p>打ち合わせ会議4回目:令和6年6月13日</p> <p>打ち合わせ会議6回目:令和6年7月12日</p> <p>打ち合わせ会議7回目:令和6年7月18日</p> <p>打ち合わせ会議8回目:令和6年8月22日</p> <p>打ち合わせ会議9回目:令和6年9月14日</p> <p>7. 認知症地域支援推進員研修および認知症に関する研修会への参加（その他）</p> <p>・令和6年9月21日</p> <p>世界アルツハイマーデー2024inはこだて開催協力</p>	<p>【活動目標】</p> <p>・認知症ケアについて多職種と協働で支援が行える。（認知症地域支援推進員の活動）</p> <p>【評 価】</p> <p>・2024年アルツハイマー月間inはこだての開催を通して多職種と協働で開催し、支援への理解を深めることができたことから、目標は達成できたと評価する。目標については、継続的に取り組む必要があることから次年度も同様の目標で取り組み、新たな取り組みとしては、チームオレンジ立ち上げに向けてステップアップ講座等整備することとしたい。</p>

令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・認知症の人やその家族が集い情報共有や支え合いが継続して行える。</p>	<p>○認知症カフェの開催</p> <p>・認知症カフェとい茶屋開催 年2回（7月・9月）</p> <p>主催：たんぼぼの会 協力：地域包括支援センター社協</p> <p>・開催場所については、戸井西部総合センターおよび戸井生涯学習センターを利用し、戸井地区の住民が参加しやすいように計画する。</p> <p>○広報啓発</p> <p>・出前講座や広報紙を通して広報啓発</p>	<p>・認知症カフェの開催</p> <p>・新たに実施した機関</p> <p>・広報、啓発回数</p>
<p>・認知症ケアについて多職種と協働で支援が行える。（認知症地域支援推進員の活動）</p>	<p>○2025年チームオレンジ立ち上げ準備</p> <p>・キャラバンメイトのステップアップ講座について検討</p> <p>○世界アルツハイマーデー2025inはこだて開催協力</p>	<p>・研修開催の企画・準備の回数</p>